

平成 28 年度 第 2 回 総合教育会議 会議録

日 時 平成 28 年 9 月 27 日（火）午前 11 時から午後 0 時 00 分まで
場 所 元気館 2 階 農事相談室
出席者 山添町長、岡田教育委員長、樋口委員、酒井委員、佐々木委員、塩見教育長
小池教育次長、坪倉社会教育課長
浪江総務課長、安田総務課主幹

（浪江総務課長）

教育委員会議でたいへんお疲れのところ、11 時からの予定で第 2 回の総合教育会議をご案内をさせていただいております。

お疲れのこととは思いますが、一つよろしくお願ひ申し上げます。

本日は協議事項を一件のみ挙げさせていただいております、教育大綱実現に向けました勉強会の開催ということで、ご協議がいただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは開会にあたりまして、山添町長より一言挨拶を申し上げます。

（山添町長）

皆さんおはようございます。本日は第 2 回の総合教育会議のご案内を差し上げましたところ、皆さま方には教育委員会議などでたいへんお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

先ほど浪江総務課長からありましたように、本日の協議事項につきましては「教育大綱の実現に向けて」というテーマで勉強会の開催をご提案させていただきたいと、このように考えております。

そういった観点の中で、教育の議論を進行させることができればと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

その後にその他ということでもありますので、皆さま方から何かご発言などありましたら、ぜひご提案など聴かせていただけたらなと思っております。

簡単ではございますが、冒頭にあたりましてのご挨拶に代えさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

（浪江総務課長）

それでは早速、協議調整事項に移っていただけたらと思っております。

進行の方は町長にお世話になりまして、1 番の「教育大綱の実現に向けて」「勉強会の開催について」につきましては、資料を用意しておりますので、いったん事務局の方で説明をさせていただきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(山添町長)

それでは協議調整事項に入っていきたいと思います。(1)番といたしまして勉強会の開催ということで、ご提案をさせていただきたいと思いますが、添付資料の後段に「与謝野町総合教育大綱勉強会の開催について(案)」の資料に基づきながら、事務局の方から説明をさせていただきたいと思います。それではよろしく申し上げます。

(浪江総務課長)

それでは「勉強会の開催について(案)」としております資料を見ていただきたいと思います。

目的といたしまして「与謝野町教育大綱の実現に向けて、今後の与謝野町の教育のあり方、事業の推進方策等について意見交換するとともに、学習指導要領改訂に向けた情報共有と、今後の授業改善等のあり方について、専門家を招聘し勉強会を開催する。」ということで、行っていったらどうかと考えております。

出席者で想定していますのは、総合教育会議のこの委員の皆さま、それから与謝野町教育委員会、それから各学校現場より教員の先生方、丹後教育局の指導主事の方を想定しております。ことに学校教育現場の方からは、どの範囲のどのような方にご出席をいただくかにつきましては、今後協議をさせていただいたらどうかというふうに考えております。

講師を招聘して「講演会」という形を想定しているものではなくて、タイトルのとおり「勉強会」というような形を考えております、あまり大勢の人たちに集まっていただいて、一方通行の講演をしていただくということではなしに、双方向のやり取りができるような感じで行ければというような形で、勉強会という名前にさせていただいているということでございます。

それから日時につきましては、ただ今のところ未定でございますが、平成28年度内に3回程度開催したいと考えております。先の9月の補正予算がとおりました、年度末までに招聘します先生の旅費なり謝礼につきましては、予算も確保させていただきましたので、3回程度予定したいということを考えております。

それから専門家の招聘を予定しています先生のご紹介をさせていただきます。先ずお一人目は、大迫弘和氏でございます。プロフィールを読ませていただきますと、「教育者。教育思想家。詩人。国際バカロレア(IB)教育の国内第一人者として知られ、文部科学省及びIB機構に協力しIBの国内普及に尽力している。これまで千里国際学園中等部高等部校長/学園長、Doshisha International School, Kyoto 校長、IB日本アドバイザー委員会等IB関連の各種委員会委員を歴任。現在リンデンホールスクール中高学部(IB校)校長、都留文科大学特任教授(国際教育学科準備室)、広島女学院大学客員教授、神戸親和女子大学客員教授等を兼任するとともに多くの教育機関からの相談に対応している」というように「BOOK著者紹介情報」より挙げさせていただいております。

先生には先日、町長と私と小池次長とお会い、自宅の方に行かせていただきましてお話しをさせていただきまして、特に目的に書いておりますように、学習指導要領が改訂をされるということでございます。先生はそれにも深く精通されておられるということでござ

いますので、その辺の話しを中心に今後の与謝野町の教育がどうあるべきか、そのあたりを先生と一緒に勉強させていただいたらどうかと考えているところでございます。

それから次の江上直樹氏につきましては、次長の方から説明をしていただきます。

(小池教育次長)

それでは江上さんにつきましては、私の方から説明させていただきます。

先ほど教育委員会議でも申し上げておりましたが、この方のプロフィールとしましては、京都大学大学院を卒業されまして、今は福知山公立大学の先生でいらっしゃいます。特に学校教育を専攻されておりますが、福知山公立大学では地域貢献ですとかそうした部分にも積極的に取り組んでいきたいということでございまして、この度、これまでやっておりました教育委員会の事業評価の外部評価につきまして、これまでは一人の大学の先生にお願いしておりましたが、今年度より評価者会議を設置いたしまして複数の評価者による会議を持つことによって外部評価を実施していきたいと考えておまして、その学識経験者として江上先生にお願いをしております。

既に承諾をいただきまして、江上先生につきましては、11月ぐらいから評価会議を持って与謝野町の教育について一定の指導をいただく予定にしております。

そういった事業を踏まえまして、大迫先生について講師としてお世話になって、また広く教育行政全般についての意見交換ができたらいいなと思っております。今回お願いしたいと考えております。先生につきましてもこの件につきましても、了承はいただいております。

(浪江総務課長)

事務局の方からは以上でございまして、町長の方から補足していただきながら進めていただけたらと思っております。

(山添町長)

ただ今、勉強会の開催につきまして、概要の方を事務局から説明をしていただきました。今回招聘の予定をしております。大迫先生、そして江上先生におきましては、先ほど総務課長、教育次長からありましたとおりでございます。

私共が目指している教育、そしてこれから国が目指していく教育、そういった相関関係がどういうふうになっているのかということについて、あらためて整理する必要があるのではないかと考えております。

そういった勉強会をつうじ今後の教育施策についても、見直しをしていく必要がある部分もあろうかと思っております。そういった方向性に向かう素地を整えていくというような感じではないかなと思っております。

いずれにいたしましても、現在、学習指導要領の改訂など様々な動きがある中で、これからの教育をどのように考えていくのかということについては、私たちだけではなく全国の市町村が同じように抱えている課題であるというように思っております。そうした各地

域における動向も横目で見ながらと言いますか、参考にさせていただきながら勉強会を充実したものにしていくことができればなと思っていますところでございます。

私の方からの説明もこの程度になりますので、委員の皆様方からご質問やご意見を聴かせていただきたいと思います。

(岡田教育委員長)

三回程度開催していただく予定になっていますけれども、この二人の先生で三回ですか？もう一回は、また誰か新たに講師をお招きしてということでしょうか？

(浪江総務課長)

想定しておりますのは、予算として三回分確保させていただきまして、それで今お二人を挙げているんですけれども、取りあえずまずはお一人一回ずつはさせていただきまして、三回目をどのような形を取るかは、まだちょっと未定というところです。

(岡田教育委員長)

それでは今のところ、この出席者の人数をだいたい何名ぐらいの予定かと？

(浪江総務課長)

そうですね。特に学校現場からの先生方に来ていただく範囲というのが、先ほども申し上げましたように、あまり講演会的な大勢を集めてということは想定していなくて、じゃあ、どなたに来ていただくかというのをまた相談して決めていただいたらどうかな、とは思っているんです。

(岡田教育委員長)

ちょうど今、11時まで教育委員会がありまして、学校によって格差がなぜ起こるのかという話があったときに、やっぱり先生方の指導力にだいぶ差があるのではということも話の中に出てきました。この授業改善のあり方については、各学校の現場から先生方にどのように来ていただくかということは重要と思います。

だいたいこの出席者の人数は、何名ぐらいを目途にされておられますか？

(小池教育次長)

結局、各学校現場からの教員数で決まるかなと思うんですけれども、委員長おっしゃったように、やはり校長先生よりかはもう少し実務に関わっている方が良いのかなという話もしておりますけれども、ちょっとまだその辺は詰めておりません。

ただ、ここに挙げています丹後教育局の方にも、こういった取り組みをやっているということも含めまして来ていただけたら、よりこちらのこれからの活動についても、よりスムーズになるかなということで挙げさせていただいております。

この辺についてもご意見を頂けたらというふうに思っておりますので、よろしくお願

いたします。

(塩見教育長)

今、次長が話しましたけれども、結局、教員は人事異動がありますね。ですから、与謝野町だけやってもダメなんで教育局も聴き、そしてやっぱり毎年これをやっていかないと人事異動がありまして、ずっと与謝野町の教員でいるわけではないので、少なくとも丹後教育局管内は動きますので、そういうことと、今、委員長おっしゃったとおり、教育は指導者の意識改革だけです。

ここをどうやっていくかということが時間がかかるし、徐々にやっていかなければならない。このスタートにここが当たると、いうことになっていく。これからも続けていかなければ、なかなか教員の一人一人末端まで届いていくというのはなかなかしんどい作業ですね。

まあ、そんなことを思って、丹後教育局も一緒になってやっていかないと、なかなかこの改革は難しいかなという思いですね。

(酒井委員)

私は前回、都合で会議を欠席いたしましてまだ議事録も見せていただけていないので、前回の話しの中味を把握してなくてこの勉強会のことも議題になっていたのかわからないんですけども、先ず一応目的は、教育大綱の実現に向けてのための勉強会ということなんですが、開催するに当たってこの教育大綱の実現に向けてということだけであると、テーマとしてはちょっと曖昧すぎるかなと思います。

来ていただく先生によって、たぶんご専門も違うと思うので、例えば教育大綱の中の一つの項目について、こういう目的のためにはこういう方法がありますよというような、もう少しはっきりしたテーマが無いと、私たちもどういう姿勢で臨ましていただければ良いのかちょっとはっきりしない。

それから、そのテーマによって例えば現場の先生に来ていただく方が良いのか、行政側の人が入るのが良いのかということも、たぶん変わってくると思うのですが、例えば大迫先生の時にはこういう話をさせていただく、また江上先生の時にはこういうテーマでということまでは詰めてはいないんですか？

(小池教育次長)

一応、事務局サイドでは、大迫先生というのは新しい学習指導要領についても相当精通されているということで、その辺を中心にこれからどんな準備をしていかななくてはならないのかというあたりを意見交換できたらなと、また情報を頂けたらなという思いであります。

特に学習の仕方というのか、内容ではなくて仕方についてこれから大きく変わってくるのかな、またそれらが明記されてくるのかな、例えばアクティブラーニングもその一つなんですけれども、そうした部分について相当研究されている方なので、例えばIDプログ

ラムのことも含めてこういう例もあるというようなことも教えていただけるという思いでこの方をお願いしていこうという思いであります。

それからもう一人の江上先生については、先ほど申しあげましたように、この人は広く教育委員会の権限の評価、いわゆる事業評価についてお世話になりますので、その更なる検証を交えたような形で意見交換会ができたかなというように思っております。

(浪江総務課長)

それから酒井委員さんから先ほどありました、前回ご欠席だったんですけども、前回、この勉強会について議論していただいたという経過はございませんでして、町内部の方で予算を確保していく予算ヒアリング等の中で町長の方からの思いもございまして、いったん勉強会を開催してはどうかということで思っておったことを、今日初めてお話しさせていただいたということです。

(岡田教育委員長)

専門家の先生方をお願いしたいのは、小人数の小規模校ですので、絵に描いた餅にならないようなご助言を頂けると、ほとんどが一学年一クラスの学校ですので、そういうこともご配慮いただいた話をしていただけるようお願いしたいなと思います。

地域性が南部の方と多少違いますので、北部に合った講義を頂けたらなと思います。

(浪江総務課長)

大迫先生の方につきましては、町長は二回出会っておられまして、私の方は一回なんですけれど、そういったお話しの中では、非常に百戦錬磨の先生だなという印象が強くございまして、前回も次長が行ってもらって現状を申し上げる中では、受け入れていただいて、与謝野町の教育の状況については、徐々に把握していただいているのかなというところも感じられましたので、現場的な話と言いますか先生にとって勉強になる話と言いますか、そういった部分ができればなと思っています。

(小池教育次長)

本当に百戦錬磨ですね。いろんな知識をお持ちの方で、ある程度そういう方の場合、自分の思いを押し付けていくというんですか、そういうことが多々あると思うんですけども、全くそういうのではなくて、やはり先ずは現場ですとか、市町村の状況を十分に把握されて、状況に合わせてやって行く方に見受けられました。

先ずは最終的には人、教師の質の向上、またその理解というんですか、そうした部分が重要だと言っておられまして、そんなに簡単に移行していくというのではないことも重々承知されている先生で、ストーンと入ってくるというんですか、話しを聞かせていただいてこの先生ならいろんな話が聴かせてもらえるのではないかなという印象を受けました。

(樋口委員)

私は、ちょっとまだ勉強会のイメージが頭の中で出来上がっていないのですが、お話しを事務局の方から聞かせていただいて、先生のお話を伺えて楽しみだなと思っています。

やはり現場の先生の人選というのは、私も今申し上げましたように勉強会のイメージが湧いていないので、それが毎回その先生を、現場の先生は今回はこの先生に来ていただくということにするのか、あくまで今回 3 回今年度実施する中で固定してその先生に来ていただくのか、どちらがいいのかなということのも、今、自分の中では図りかねているところがあって、できることなら折角するんですから、もちろん中心となって動いていただいている先生、今一番お忙しい立場にいらっしゃるんでしょうけれども、今少ないと言われている四十代後半、五十代の一番少ないゾーンの先生たちは、忙しい中で一番ご苦勞を重ねられているので、その先生の何かヒントになるようなことがお伝えできたらな、また一緒に勉強できたらなと個人的には考えています。

(小池教育次長)

この事業につきましては、初めての取り組みということで、総合教育会議の事業としてやりたいということです。基本がこのメンバーの勉強会でしたが、それだけではもったいないということで、教職員の研修会としても取り組んでいったら良いと思っています。

まずはこのメンバーでこれからどう取り組んでいった方が良いのか、これからどういう指導要領になっていくのかということをお勉強していただくということが狙いかなと思っていますので、できたら良い先生を招聘するわけなので、プラス学校現場にも持って帰ってもらえたら良いと思いますので、そういう視点で取りあえずどうなるかはわかりませんが、そのつもりでおります。

(佐々木委員)

話が外れてしまうかもしれないんですけども、江上先生のプロフィールを見ていて地域への想いのところで「テーマとしては高大接続に関心があります」というふうに書いてありますが、最近の教育委員会会議でも出たように高校の再編についてというところの問題もあって、その辺もどう思われるかなというのが、ちょっと私的に思いました。

もう決定事項でもないんですね？

(樋口委員)

補足になるんですけども、こういった与謝野町総合教育会議という中で、また勉強会をするという中で、先ほど教育長がおっしゃったように異動ということがありますので、なかなか「与謝野町だけにずっと居てくれよ」となるとなかなか言えない中、お仕事のことがあるんですけども、個人的な意見を言わせていただけたら、こういったことを経験していただくことによって現場の先生にも「あっ、与謝野町で教鞭を取りたいな」というような、「与謝野町ではこれだけ頑張っているんだな」ということで、そういう希望が通るか通らないかは私の関与するところではないんですけども、できたらそういった形で先ほどの中堅で頑張っておられる先生たちに、与謝野町で自分の実力を発揮できるよ

うな町であるということをご認識していただくことも、この会議の勉強会のポイントとして使えるかなと思いました。

(塩見教育長)

今、樋口委員がおっしゃったように、私も結局は「教育は人なり」ですので、そこだけが頭にあってそういうことを私も与謝野町の教育について思っておりますし、これからの一助になれば良いなと思っておりますけど、大原則は次長が申しましたように「総合教育会議の勉強会」で、その次に教職員の方は京都府なりやって行かなければならない、国ももちろんそうですけれども、それに先んじた勉強会だろうと思っておりますので、今後町内の先生についてはどうしていくのかというのは考えていきたいと思っておりますけども、あくまでも町の総合教育会議の勉強会、先んじた勉強会ですので、これを誇りに持ってもらい樋口委員がおっしゃったように、もし教員がそう思ってくれたらなおさら嬉しい限りであります。

そういうことを一つ大前提を踏まえた上で、とにかく今年度三回やってみて、それからもちろん検証を進めれば良いかなという思いがしますけどもね。

(山添町長)

それではそれぞれの委員の皆さん方からご指摘をいただきました。今回の勉強会の開催につきましても概要をお示しさせていただいているという性格が非常に強いことから、細部の協議については検討するべき点もいくつかあるんじゃないかなというふうに思っております。

そういった中で、先ほど出させていただきましたテーマをどういうふうに持つのか、あるいは教員の皆さん方に対してどのように参画を求めていくのかという点につきましては、今後、事務局そして私の方でも調整させていただきたいというふうに思っております。

皆さま方の疑問の中にもありました勉強会の開催については、特に異論は無いと思っておりますので、この勉強会をつうじ私共がこれからの教育の流れをきっちりと把握をした上で、与謝野町の教育に関与をしていく努力をするべきであると思っておりますので、そういった観点で皆さん方にはご協力いただきたいというふうに思っております。

そして最後に、委員長からありました日時、今年度内に三回程度開催していくと、そしてこの二方の招聘を予定していますが、この配分をどうしていくのかという点については私として事務局でも調整をまだしておりませんので、その点については今後、私共の方でも調整させていただきながら皆様方に対しても連絡させていただきたいというふうに思っております。

いずれにいたしましても、この議題を検討していただいた後に、両先生方につきましても日時あるいはそのテーマをどうしていくのかという相談もさせていただきたいと思えますし、逐一、皆様方には情報をフィードバックさせていただきたいと思えます。

(浪江総務課長)

補足でよろしいですか？先日、大迫先生にお話しをさせてもらった時に、たしか年内は

無理かなとおっしゃられていたと思われましたので…。

(小池教育次長)

11月いっぱい難しいと言われていたのでは？

(山添町長)

年内は詰まっているので、できるだけ早く言ってくれとおっしゃられていたのでは？

(浪江総務課長)

その辺がありますのと、江上氏につきましては、先ほど教育委員会にお聞きしますと、事業評価の関係で外部評価として加わっていただくということから、先ず内部の外部評価をしてからということですので、年が明けてからというような予定を想定はしていますが、二次につきましても今後詰めさせていただきまして、できるだけ早くお伝えできるように思うように思っております。

(山添町長)

あと、その評価点検も非常に大切な取り組みだと思いますし、その評価の点検をおそらく両先生方でも共用したりすることも良いのかなと思ったりもします。というのは、大迫先生自体は先ほどありましたように、地域の事情についてもまだ細部にわたってご承知でないということでもありますし、評価点検が進んでいく中で相互の関係性をどうしていくかということも一つの検討課題になるのかなと、話しを聞かせていただいて思いましたので、この点においても今後の調整事項になるのかなという印象を私自身が持ちました。

それでは、協議調整事項の(1)番につきましては、皆さま方に確認いただいたということでもよろしいでしょうか？

(各委員)

はい。

(山添町長)

ありがとうございました。

先ほどのご指摘をいただきましたことも踏まえ、今後、私たちの方でも調整をさせていただきたいと思えます

それでは②番といたしましてその他であります、皆さまの方から何かございましたら、ご発言などよろしくをお願いします。

(浪江総務課長)

前回の議事録を事務局で取りまとめさせていただいております。今日お配りをさせてい

ただ、委員さん方で修正がありましたら、来週中にお返しをいただいて、その後、ホームページにアップするような形にしたいと思っておりますので、ご点検の方をよろしくお願いいたします。

(酒井委員)

ちょっと質問をさせていただいていいですか。総合教育会議の方で出ているので質問させていただきたいんですが、ジャンプスタートというのがあるんですけど、ネットなどで調べても定款など以外何も出てこないもので、どういう団体か教えてください。

(塩見教育長)

これはNPOの団体として、まだ研究中ですけれども、いわゆる日本人の英語の先生のこととして、今、委員会では外国から来たALTの方が各中学校1名ずつおりますが、なかなか小学校幼稚園まで外国語活動に行けないので、できたら峰山のNPO法人の方に協力していただいて、日本人の先生で小学校等々に行っていて、英語を教える環境ができれば良いなということもあって、今年、実験的に岩滝小学校で取り組みをしていただいて、小学校の先生や教育委員の皆さんにどんな様子かを見ていただいて、できたらここには何名かおいでますので、この方々に小学校の英語教育に携わってもらえないだろうかということが、今の私の考え方です。

ですから、これと予算の関係もあったりクリアしなければならない条件もあると思うんですが、その辺を調整しながら来年度か再来年度に向かって行きたいと考えておりますのがこれです。

(酒井委員)

英語のできる方の登録をしていて、その人を紹介するという団体なんですかね。できたのも今年の4月頃ということで、これまでどういうことをされているかとか、全くわからなかったもので。

(塩見教育長)

そうですね。樟葉小学校の日本人英語講師のイメージがありまして、ただ都会でないとなかなかそういう人材が無いのかなと、正直なところ思っていましたけれども、でも、できたらそういった協力団体があったら、少なくとも英語が話せる先生が小学校に、今、一番課題になっているのは、小学校の英語の授業で教員の英語力が問題なんです。この辺を何とかしてクリアしたいというのが課題意識として持っておりまして、これをちょっとクリアできないかというのが一つあったと。もう一つはイングリッシュキャンプを夏にやってみたい。

これもNPO法人や例えば町内の英語のできる方に協力していただいて、そんなこともやってみたいというのが、今のところの私の思いですが、そんなこともやりながら小学校の英語と中学校と結びつかないかなというのが、今、私の。ですがまだまだ実績とかは

わかりませんし、今のところは京丹後市の新山小学校しか行っておられないのですが、一度見に行こうかとは言っておりますが、学校現場に入れて行くのはなかなか決断できないというのが正直なところですので、その資料はこうした思いを私自身持っておりますというのを町長にもお願いして、できたらこんなことをしてみたいなという思いを持っているということでございます。

(小池教育次長)

その件なのですが、まだ実績が無いのですが京丹後市で既に活動はされているんですけども、まだボランティア参加という形をとられておりまして、ここの力量がわからないということで、今、教育長が申しましたように岩滝小学校にお願いしてデモ授業みたいなものをしていただいて、それを他の小学校の先生も見えていただいて、また私たちも見せていただいて「これだったら」とかいう判断をさせてもらおうかという段階です。

できたら来年度に向けて。ただ、ハードルもありましてJETでお世話になるということになると派遣業の届出が必要だとか、法的な部分もクリアしてもらわないと契約できないので。また、一番心配な点としてNPO法人としての力量です。一人二人は良い先生がいてもということがあり、拙速に契約することは考えていません。

(塩見教育長)

今度、富雄北小学校も英語特区です。奈良へ行かれたらそのことも聞いていただいたら良いと思いますが、樟葉小学校のイメージが強すぎてギャップがあると思いますが、そのNPO法人の授業を見てみたいなと思っています。

もし手にあったら与謝小学校の授業も見えていただいて、それも軽々にはいかないのでは例えばいけたら来年度クリアできたら、旧町ごとに一人ずつくらい三人ぐらい行けるかなとか、そんなことを思いながら一歩でも夢を進めることができないかなという思いを持っています。

(山添町長)

それではその他ありませんでしょうか？

(浪江総務課長)

この会議の持ち方につきまして、前回今回と教育委員会議の後の1時間をいただきまして開催させていただいております。

総合教育会議の日を別途取ってということもあっても良いかと思うんですけども、できる限りこのような形で委員さん方にもご負担の無いようにも配慮させていただきながら考えておりまして、こういったケースでお世話になる形と、それからもう少し時間が必要なケースの場合は別途日を改めて取らせていただくという形で進めさせていただいたらどうかというように思っておりますので、この点につきましてご了解いただきたいと思っております。

(小池教育次長)

その中で情報提供ということで、もうご承知だとは思いますが、毎年恒例の学校訪問を教育委員さんにさせていただきます。10月から11月に集中して全幼稚園、こども園、小中学校に行かせていただきます。

なお、橋立中学校については中学校組合の委員さんにお世話になるということで、10・11月については教育委員さんには午前中だけとはいえ非常にタイトな予定でお世話になることを報告させていただきます。

(山添町長)

僕も…。

(塩見教育長)

まあ、考えます。

でも、やっぱり町長大きいです。もし、橋立中学校なら管理者ですので行けるんですが、他も見たいでしょうね。

やっぱり現場を見てもらうのが良いと思いますが、たぶん構えますわ。教育委員が行くだけでも構えてますので。

(岡田教育委員長)

できれば給食の試食もしていただいたら、自校給食をセンター給食にという流れもありますので、自校給食を私は残して欲しいと…。

(小池教育次長)

総合教育会議で学校訪問しましょうか？

(塩見教育長)

その方が良いかもしれん。教育委員となると町長が入ってもらえない。総合教育会議で見たいなという学校が、それで校長の了解があれば行けると思いますね。

まあ、考えましょう。

(山添町長)

見てくれと言ってくれている所を、それを見に行くと？

(小池教育次長)

それはいつでも良いですけど。校長先生や教務主任を交えて実状を見てもらい、リアルなところを意見交換していただいているんですけど…。

最後それを総括して、だいたい年明けに各学校に感想をあげているんです。

(塩見教育長)

見たままの感想を書いてもらいます。それを学校長に返しているんです。

(樋口委員)

それでしたら例えば10月と11月は私たち教育委員会です、学校訪問させていただくんですけれども、総合教育会議としての勉強会の一環としてこの時期じゃなくて、もし町長がこの時期あたりが子どもたちの様子が見たいという時期があれば、別途その勉強会の一環として時間を調整していただいて体験していただく中で、現状について話をする機会も持っていただいたら良いのでは。

(小池教育次長)

私もその方が良いかなと思っているんですが。そうなってくると、皆さんにまた負担を掛けることになるので。

(塩見教育長)

今だったら学校は、もうすぐ教育委員の学校訪問があると知ってますけど、突然、町長が来られたら学校にも負担がかかるので調整しましょう。

(酒井委員)

突然はやっぱり駄目なんですか？

(塩見教育長)

それはやっぱり具合が悪いでしょう。やっぱり仁義というものがありますので。

(小池教育次長)

やっぱり町長が行くとなったら学校も構えますでしょう。

(塩見教育長)

お客さんがみえられて何も身構えないというのもないでしょうし。やっぱり事前に通告して行くべきでしょう。

(樋口委員)

私はこの役を受け賜って、一つぐらいはお役に立てるかなと思っていることは、地域の親御さん声だったりお爺ちゃんお婆ちゃんの声、できるだけ上に伺えるようにアンテナを広げているつもりです、その中で「あの学校はどうなんだろう？」と聞くと会議の中で「この辺をまたお調べいただけますか」とか、ちょっとでも考えているんです。

近所では子育て真っ最中でネットワークも広いので、現状の調査をしているんです。

(岡田教育委員長)

直接は関係が無いのですが、岩屋小学校が市場小学校に統合されたことで、通学路でちよっと危ないところがありまして、これから雪が降ることもあり気になっています。なかなか民家があるところだけを通学路にすることも、通学路を変えることも難しいですので、安全の面でご配慮いただけたらと思っています。

(塩見教育長)

たぶん岩屋と幾地の最後のところのカーブだと思うんですが、あそこが一番狭いですし。あそこに抜けて行く抜け道の通学路が無いんですね。ですから一番私も気にしていますし、誰も気にしているんです。

雪が降ってくると更に狭くなるし、除雪も難しいと思われるが、特に早めにしていただくようお願いをしないといけないなと思っています。

(小池教育次長)

平地峠の信号のところですね。あそこは何十年来の危険個所で、区から要望が上がっていますけれどバイパスを作る以外は方法はありません。

(塩見教育長)

初めての冬ですので対応はしたい。

(山添町長)

それでは予定をしておりました時間にもなりましたので、このあたりで第2回の総合教育会議を閉じたいと思います。

本日、議論いただきました点につきましては、皆様方からのご意見を反映させていただきながら、私たちの方で調整させていただきたいと思います。

それでは引き続き活発な総合教育会議が展開できますように、お願い申し上げまして閉会とさせていただきます。

本日はありがとうございました。